

第36回議会改革検討協議会 議事録（要点筆記）

【日 時】平成30年11月12日(月)午前10時

【委 員】溝口委員長、林副委員長、池辺委員、中谷議員（代理）、野田委員、森下委員、草刈委員

【職 員】松下事務局長、丸山次長、近藤次長補佐 日出山次長補佐

〔協議事項〕

1 今後の議会改革について

- ・議員研修に関する内容を議会基本条例に追記する（案） 運用基準について

※基本条例改正案の内容で議運に諮る事を全委員確認。
運用基準は無し。

- ・請願陳情者の意見陳述について

委 員：この案で了とする

委 員：近々の議運に諮ってはどうか。

委員長：周知も含めて直近で諮るのが望ましいが実施時期は議運で諮って頂く。

委 員：現在の意見書（意見陳述の伴わない分）の扱いは変わらないのか。

→会派からの分は変わらない。

外部からの分については15日前。

（意見陳述を希望するかの確認期間を要するため）

※「請願・陳情」を議会基本条例に明文化し、運用基準の中に「陳情の取り扱いについて1」を明記し、「陳情の取り扱いについて2」は委員長と事務局で内容を精査し次回協議。

- ・委員間討議について

フロー図の確認（事前資料配布）

※資料確認し全委員確認→議運にあげていく事で決定。

2 大阪府議会への視察について

委 員：本市でも泉大津高校があるので、府との連携取れないか。
一般の方への働きかけも取り組むべき。

委 員：支援学校との取り組みに感銘、支援の必要な子供たちに対する模擬投票の実施など、地域での働きかけになれば素晴らしい。

と思う。また、ボードの活用について。

委員：事務局主導と感じた。議員主導でやるべき。

委員：泉大津高校への取組は議員の公平・平等の観点から難しい。
SNSによる投稿をどのように広げられるか可能性を確認して
いきたい。

委員：取組、向う方向は同じだが、府議会議員の説明がほしかった。

委員長：大阪府教育委員会が賛同している事を確認することができた
事が、泉大津高校へのアプローチも含めて現実的になったの
ではないか。現在本市議会の出前講座の在り方が職業講和になっ
ているが、投票行動や立候補につながる取組として出前講座を
進めていきたい。

3 その他

「次期の議会改革への取組について」を考えていたが、請願陳情の
継続案件があるので、次々回に持ち越しする。

次回日程

11月28日(水) 一般質問抽選後に「請願陳情」の案件のみ協議

2月27日(水) 一般質問抽選後に「次期の議会改革への取組について」